絵本表現の「いま」と「むかし」

2022.7.17 Sun PM2-4

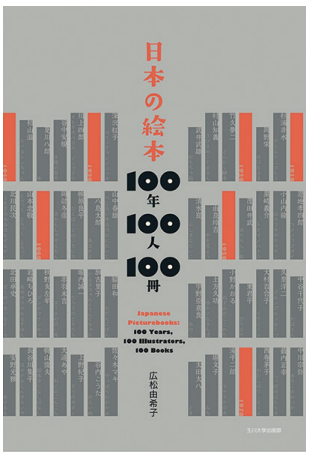
JBBY 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座 ❶

絵本表現の「いま」と「むかし」

講師：広松由希子

＊「子どもゆめ基金」助成活動

主催：日本国際児童図書評議会（JBBY）



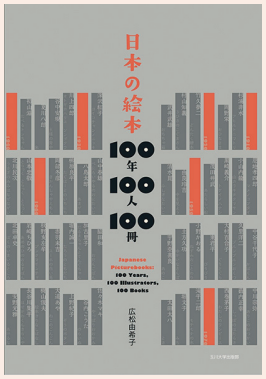
『日本の絵本 100 年 100 人 100 冊』
広松由希子著 / 玉川大学出版部

JBBY 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座 ❶

絵本表現の「いま」と「むかし」

講師：広松由希子

絵本は、十数枚の紙が綴じられたモノであり、さまざまな要素がひとつになった表現媒体です。近刊『日本の絵本　100 年 100 人 100 冊』で紹介している作品を中心に、20 世紀初頭から現在までの「今」と「昔」の絵本をテーマにそって取り上げながら、いろいろな角度から見ていきます。先達が築いてきたこれまでの絵本表現を振り返りつつ、これからの絵本の可能性についてもいっしょに考えてみましょう。



『日本の絵本　100 年　100 人　100 冊』広松由希子著　玉川大学出版部
大正から平成までの約 100 年に出版された 100 人の画家の絵本 100 冊を選び、カラー図版とともに解説。巻末には 150 年間の絵本年譜も。

講師：広松由希子（ひろまつ・ゆきこ）

編集者、文庫主宰、ちひろ美術館学芸部長を経てフリーに。絵本の文、評論、翻訳、展示企画などを手がける。ボローニャ国際絵本原画展、ブラチスラバ世界絵本原画展（BIB）などの国際審査員を歴任。朝日新聞「子どもの本棚」や月刊「MOE」などで絵本記事を連載中。立教大学、武蔵野大学など兼任講師。83gocco 共同主宰。JBBY 副会長。

主な編著書に『日本の絵本　100 年 100 人 100 冊』（玉川大学出版部）『茂田井武美術館　記憶ノカケラ』（玄光社）『瀬川康男画集　生きとし生けるもの』（講談社）、絵本の文に『おかえりたまご』（アリス館）『おめでとう』（講談社）「いまむかしえほん」シリーズ（全 11 冊、 岩崎書店）、翻訳に『ナイチンゲールのうた』（BL 出版）『うるさく、しずかに、ひそひそと』（河出書房新社）『ヒキガエルがいく』（共訳、岩波書店）などがある。

撮影：志田美穂子

[日　時] 7月17日（日）午後 2時～4時

[場　所] ① オンライン
② 対面：出版クラブビル
東京都千代田区神田神保町 1-32（「神保町駅」A5 出口より徒歩 2 分）
https://shuppan-club-hall.jp/access

[対　象] 大人（高校生以上可）

[定　員] ① 40 人　② 40 人（申込先着順）

[参加費] ① ②とも 1,100 円（事前払込み）

■ この活動では、団体広報や子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。撮影した写真や映像等は、広報用に HP や SNS、刊行物等に掲載することがあります。なお、子どもゆめ基金への報告用に提出した個人情報（写真）は、「（独）国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

お申し込み

外部サイト「Peatix」からお申し込みください。クレジットカード決済か振り込みが可能です。受講方法は 2 通りです。① オンラインか ② 対面をお選びください。
https://jbbyonline024.peatix.com
① オンライン ▹ Peatix にログインして視聴ページよりご覧ください。
② 対面 ▹ 20 分前に開場します。

▸ 主催・問合せ先
JBBY 日本国際児童図書評議会
〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-5F　Tel: 03-6273-7703　Email: info@jbby.org